

道徳教育を楽しむ

長生村立八積小学校

1 はじめに

社会のグローバル化が進み多様な文化や価値観がもたらされるようになった現在、学校には「生きる力を育む」ことの実現のために具体的な手立てを図ることが喫緊の課題となっている。特に人々がお互いの良さや違いを認め合い、尊重し合いながら生きていくことが大切となっており、規範意識、自己肯定感、社会参画意識の低下やいじめ問題等の解決が求められている。本校では、これらの課題に対応しようと、「特別の教科 道徳」を研究している。具体的には、道徳の授業を要とし、道徳的価値についての理解を基に自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え議論する授業を創造しようと試行錯誤しながらも着実に進めている。

児童がよりよく生きるための道徳性が養われ、さらに道徳的实践力をつけ将来にわたって生きる力につながるように推進したい。

2 研究の目標

「考え議論する道徳」において児童が多面的・多角的に考え、生き方についての考えを深める指導方法の工夫改善を図れば道徳的価値を深めることになることを、実践を通して明らかにする。道徳教育の視点で学校教育活動全体をひと磨きする。

3 取組の重点

(1)考え議論する道徳授業の指導方法の研究

①講師の指導による指導方法の工夫・改善

②仮説の検証としての授業研究

(2)他教科との関連

①各教科における道徳教育の工夫・改善

※道徳的な視点で各教科をひと磨きし実践する。

(3)地域との連携

①ゲストティーチャーの効果的な活用

②道徳授業の地域公開

4 研究の実践

(1)3学年（道徳の授業実践）

相互理解、寛容（内容項目 B-10）

教材名 「日曜日の公園で」（光村図書）

①主題名 相手の意見も大切に



②授業後の考察

タクとぼくの言い争いの場面を取り上げ、どうすれば良かったのかを考えさせた。ワークシートには自分を重ね合わせて記入している様子が見られた。記入後、役割演技を行うことで演じた児童だけでなくそれを見ていた児童もいろいろな見方や考え方があることを学ぶことができ、相手の言い分を理解し譲り合うことや異なる意見にも耳を傾けることの

大切さに気付くことができた。また、役割演技を行うことについての重要性を共有することができた。

③地域との連携

授業を行うにあたり、指導主事を要請し教職員を三つのグループに分け、主発問をどうするか等、活発に討論した。この討論も「考え議論する道徳」といえ、次第に定着してきた。これによって自信をもって指導することができた。また、保護者や地域の方々に理解を求めるためにも積極的に公開した。

(2)道徳教育と各教科との関連

道徳教育は、特別の教科である道徳を要として学校の教育活動全体を通じて行うものであり、道徳科は、もとより各教科（外国語活動）、総合的な学習の時間及び特別活動のそれぞれの特質に応じて、児童の発達段階を考慮して適切な指導を行う必要がある。よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うために特色ある教育活動を数多く行った。その中でも中国の小学生との交流は、心の教育の推進として、とても有意義なものとなった。

①中国の小学生との交流

中国の小学校と2度、交流する機会を得た。

それぞれの学校の発表をした後にゲームやインタビューを行い、その後給食も一緒に食べた。お互いに文化の違い等に戸惑いながらも楽しく交流をすることができた。特に中国の子供が給食時に牛乳ビンのふたを開けられないのを見て本校児童がふたを開けてあげる思いやりのある行動を見ることができた。

②幼児、高齢者等とのとの触れ合い

学校行事において、より良い人間関係の形成、公德心、社会奉仕等に関わる道徳性を養おうと幼児、高齢者や障がいのある人々との触れ合い活動を行った。写真は、6年生が地域の方と一緒に独居老人宅を訪問する様子で

ある。その他の活動として4年生の車いす体験、5年生の障がい者施設訪問を行った。コミュニケーション能力や豊かな人間性も育むことができ、地域への貢献活動となっている。



(3)地域との連携

本校では、一人一回地域へ授業公開を行っている。地域の議員や学校評議員等を含め、たくさんの方々の参観があった。公開に向け、あいさつ運動等の充実も図った。また、地域の方を講師として積極的に招聘している。

5 おわりに

本校では道徳教育推進委員会を設置し、定期的に話し合い、改善してきた。また、各教科と道徳の内容がわかるための全体計画を作成し、様々な取組を行ってきた。

道徳の授業を行う際の職員研修では、主発問を積極的に「考え議論する」ことができるようになり、とても有意義な研修となった。

こういった活動の成果として教員が自信をもって児童を指導することができていることは学校経営にとっても大きな成果である。

今後は、自校の道徳教育の推進について、更に保護者や地域の方に理解を求め、学校と家庭・地域が連携した指導を進めることができるようにしたい。また、自分を大切にし、他人を大切にする児童を育てるため、校長としてリーダーシップを発揮し、これからも道徳教育を強く推進していきたい。